

科目名	音響機材メンテナンス		担当講師	米谷仁	
講師実務経験	音響会社勤務				
対象学年	1 学年	対象コース	サウンドステージ		授業形態
期 間	後期	総授業回数	6 回	1回あたりの授業時間	
修 得 目 標	PAで使用するケーブルの作り方を修得する。				
回数	日程	【授 業 計 画】			
1	11月27日	XLRコネクタを使用したケーブルの作成練習①			
2	12月4日	XLRコネクタを使用したケーブルの作成練習②			
3	12月11日	フォンコネクタを使用したケーブルの作成練習①			
4	1月22日	フォンコネクタを使用したケーブルの作成練習②			
5	1月29日	NL-4を使用したスピーカーケーブルの作成練習			
6	2月5日	定期試験対策			
評価方法	定期試験点数(50%)実技修得度(50%)平常点±10点(出席率、提出物、授業態度・取組状況など) 成績評価方法:B				
評価	上記総合評価点 S(100-90) A(89-80) B(79-60) C(59-50) D(49以下 不可)				
テキスト					
注意事項	18時間中 7時間の欠席で定期試験受験不可=卒業ができません(留年となります)				

科目名	ローディー実習 I	担当講師	斎藤 康次
講師実務経験	音響会社勤務		
対象学年	1 学年	対象コース	サウンドステージ専攻
期 間	後期	総授業回数	6 回
		1回あたりの授業時間	135 分
修 得 目 標	キーボードやギター、ベースのセッティングを修得する。		
回数	日程	【授 業 計 画】	
1	11月27日	授業ガイダンス	
2	12月4日	キーボードの概要と基本セッティングの説明、実践	
3	12月11日	ギター、ベースのつまみやスイッチ、アンプの使用方法について	
4	1月22日	ギター、ベースのセッティングの実践 エフェクターの仕組み	
5	1月29日	楽器の転換作業	
6	2月5日	試験対策	
評価方法	定期試験点数(30%)実技修得度(70%)平常点±10点(出席率、提出物、授業態度・取組状況など)		
	成績評価方法:B		
評価	上記総合評価点 S(100-90) A(89-80) B(79-60) C(59-50) D(49以下 不可)		
テキスト			
注意事項	18時間中 7時間の欠席で定期試験受験不可=卒業ができません(留年となります)		

科目名	舞台音響技術概論 I		担当講師	梶野 泰範・千葉 諭	
講師実務経験	音響会社勤務				
対象学年	1 学年	対象コース	サウンド・ステージコース		授業形態
期 間	後期	総授業回数	7 回	1回あたりの授業時間	
修 得 目 標	舞台音響機構に関する知識を、舞台機構調整作業筆記試験・実技試験内容に沿う形で学び、修得する。				
回数	日程	【授 業 計 画】			
1	11月28日	舞台一般の知識、劇場・舞台の種類、歴史を学ぶ / 実技試験の概要説明、練習			
2	12月5日	舞台機構設備、照明設備、映像設備の基礎知識や舞台用語を学ぶ / 実技試験の練習			
3	12月12日	音響の基礎知識、音の物理的知識、聴覚に関する知識、音響機器の種類、構造、機能及び用途を学ぶ / 実技試験の練習			
4	1月23日	ミキシング技術及びデザインの知識、音楽ジャンルにおけるテクニックの知識、音源の基礎、声、楽器、音楽の基礎の知識を学ぶ / 実技試験の練習			
5	1月30日	電気の基礎、室内音響、電気音響設備動作特性と測定 of 知識を学ぶ / 実技試験の練習			
6	2月6日	関係法規、安全衛生の知識を学ぶ / 実技試験の練習			
7	2月13日	学科試験・実技試験のシュミレーションを行う / 定期試験対策			
評価方法	定期試験(筆記試験)100%、平常点±10点(出席率、提出物、授業態度・取組状況など) 成績評価方法:A				
評価	上記総合評価点 S(100-90) A(89-80) B(79-60) C(59-50) D(49以下 不可)				
テキスト					
注意事項	42時間中 15時間の欠席で定期試験受験不可=卒業ができません(留年となります)				

科目名	PA実習 I		担当講師	斎藤 康次	
講師実務経験	音響会社勤務				
対象学年	1 学年	対象コース	サウンドステージ専攻		授業形態
期 間	後期	総授業回数	7 回	1回あたりの授業時間	
					135 分
修 得 目 標	PAシステムの全体像を修得する。				
回数	日程	【授 業 計 画】			
1	11月29日	授業ガイダンス KISSホールの説明			
2	12月6日	ハウスPAシステムの説明			
3	12月13日	モニターPAシステムの説明			
4	1月24日	ステージセッティングについての説明①			
5	1月31日	ステージセッティングについての説明②			
6	2月7日	PAシステムの総合的な説明			
7	2月14日	試験対策			
評価方法	定期試験点数(30%)実技修得度(70%)平常点±10点(出席率、提出物、授業態度・取組状況など) 成績評価方法:B				
評価	上記総合評価点 S(100-90) A(89-80) B(79-60) C(59-50) D(49以下 不可)				
テキスト					
注意事項	21時間中 8時間の欠席で定期試験受験不可=卒業ができません(留年となります)				

科目名	コンソールトレーニング		担当講師	斎藤 康次	
講師実務経験	音響会社勤務				
対象学年	2 学年	対象コース	サウンドステージ専攻		授業形態
期 間	前期	総授業回数	9 回	1回あたりの授業時間	135 分
修 得 目 標	オペレートに必要なコンソールと周辺機器の操作を修得する。				
回数	日程	【授 業 計 画】			
1	5月10日	授業ガイダンス			
2	5月17日	デジタルコンソール使用方法について			
3	5月24日	ライブ実習のデータ打ち込み			
4	5月31日	エフェクターの使用方法について			
5	6月7日	ライブ実習のデータ打ち込み			
6	6月14日	音作りについて			
7	6月21日	ライブ実習のデータ打ち込み			
8	7月5日	音源再生について			
9	7月12日	試験対策			
評価方法	定期試験点数(30%)実技修得度(70%)平常点±10点(出席率、提出物、授業態度・取組状況など) 成績評価方法:B				
評価	上記総合評価点 S(100-90) A(89-80) B(79-60) C(59-50) D(49以下 不可)				
テキスト					
注意事項	27時間中 10時間の欠席で定期試験受験不可=卒業ができません(留年となります)				

科目名	ライブ音響実習		担当講師	斎藤 康次・田上 涼	
講師実務経験	音響会社勤務				
対象学年	2 学年	対象コース	サウンドステージ専攻		授業形態
期 間	前期	総授業回数	9 回	1回あたりの授業時間	
				270	分
修 得 目 標	実際のライブで必要な技術の実践力を修得する。				
回数	日程	【授 業 計 画】			
1	5月11日	授業ガイダンス 仕込み作業について①			
2	5月18日	ミックスバランスについて			
3	5月25日	ライブ実習①		※ライブ実習	
4	6月1日	仕込み作業について②			
5	6月8日	ライブ実習②		※ライブ実習	
6	6月15日	トラブルシューティングについて			
7	6月22日	ライブ実習③		※ライブ実習	
8	7月6日	転換作業について			
9	7月13日	試験対策			
評価方法	定期試験点数(30%)実技修得度(70%)平常点±10点(出席率、提出物、授業態度・取組状況など) 成績評価方法:B				
評価	上記総合評価点 S(100-90) A(89-80) B(79-60) C(59-50) D(49以下 不可)				
テキスト					
注意事項	54時間中 19時間の欠席で定期試験受験不可=卒業ができません(留年となります)				

科目名	機材概論 I		担当講師	千葉 諭・田上 涼	
講師実務経験	音響会社勤務				
対象学年	1 学年	対象コース	サウンドステージ専攻		授業形態
期 間	後期	総授業回数	8 回	1回あたりの授業時間	
修 得 目 標	マイクロフォン、D.I.、ミキサーに関する各スペックを修得する。				
回数	日程	【授 業 計 画】			
1	12月1日	授業ガイダンス 学校内の機材スペック表作成について			
2	12月8日	機材スペック表作成① ライブイベントの流れと作業			
3	12月15日	機材スペック表作成② マイクロフォンの種類と特性①			
4	1月19日	マイクロフォンの種類と特性②			
5	1月26日	D.I.の種類と特性			
6	2月2日	アナログミキサーの各部名称と使用方法について			
7	2月9日	デジタルミキサーの使用方法について			
8	2月16日	レベルメーターについて 試験対策			
評価方法	定期試験(筆記試験)100%、平常点±10点(出席率、提出物、授業態度・取組状況など) 成績評価方法:A				
評価	上記総合評価点 S(100-90) A(89-80) B(79-60) C(59-50) D(49以下 不可)				
テキスト					
注意事項	24時間中 9時間の欠席で定期試験受験不可=卒業ができません(留年となります)				

科目名	就職ガイダンス		担当講師	一岡 永	
講師実務経験	音響会社勤務				
対象学年	1 学年	対象コース	就職対象専攻		講義
期 間	前期	総授業回数	8 回	1回あたりの授業時間	45 分
修 得 目 標	企業情報の収集、就職活動計画や応募書類等、就職活動準備方法を修得する。				
回数	日程	【授 業 計 画】			
1	12月1日	就職用写真の撮影準備について			
2	12月8日	自己PR作成のポイント(応募用)			
3	12月15日	志望動機作成のポイント(応募用)			
4	1月19日	エントリーシートの質問項目と解答例			
5	1月26日	応募条件について考える			
6	2月2日	過去求人の紹介/応募企業の選定			
7	2月9日	面接対策			
8	2月16日	春休み中に出来る事/3月の求人公開に向けて			
評価方法	2/3以上の出席で「修得済」評価				
評価	「修得済」評価(点数評価は行わない)				
テキスト	無し				
注意事項	8時間中3時間の欠席で定期試験受験不可=卒業ができません(留年となります)				

科目名	時事研究		担当講師	山田 佳晴	
講師実務経験	ニュース・時事問題を読み解き、日常生活の思考・行動に活用する力を修得する。				
対象学年	1 学年	対象コース	スタッフ関連科目受講者	授業形態	講義
期 間	前期	総授業回数	8 回	1回あたりの授業時間	45 分
修 得 目 標	ニュース・時事問題を読み解くことで、日常生活の思考・行動への活用法を修得する。				
回数	日程	【授 業 計 画】			
1	12月1日	直近のニュースについて①			
2	12月8日	直近のニュースについて②			
3	12月15日	直近のニュースについて③			
4	1月19日	直近のニュースについて④			
5	1月26日	直近のニュースについて⑤			
6	2月2日	直近のニュースについて⑥			
7	2月9日	直近のニュースについて⑦			
8	2月16日	講義振り返り、試験対策			
評価方法	定期試験(筆記試験)100%、平常点±10点(出席率、提出物、授業態度・取組状況など) 成績評価方法:A				
評価	上記総合評価点 S(100-90) A(89-80) B(79-60) C(59-50) D(49以下 不可)				
テキスト	無し				
注意事項	8時間中3時間の欠席で定期試験受験不可=卒業ができません(留年となります)				

科目名	イベント実践期間(K-1ライブ前)		担当講師	齋藤 康次 / 千葉 諭	
講師実務経験	音響会社勤務 / 音響フリーエンジニア				
対象学年	1 学年	対象コース	サウンド・ステージ		授業形態
期 間	後期	総授業回数	28 回	1回あたりの授業時間	270 分
修 得 目 標	K-1ライブの実施を通して、ライブ音響に必要な技術・本番オペレートの基礎を修得する。 全てのコースを同時に準備を進め、セクションを跨いだコミュニケーション力を修得する。				
回数	日程	【授 業 計 画】			
1	10月10日	KISSホールの使用方法について① / KISSホールの音響機材について①			
2	10月11日	KISSホールの使用方法について② / KISSホールの音響機材について②			
3	10月12日	KISSホールの使用方法について③ / KISSホールの音響機材について③			
4	10月13日	KISSホールでのPAセッティングについて① / 機材スペック表を元に機材の説明①			
5	10月16日	KISSホールでのPAセッティングについて② / 機材スペック表を元に機材の説明②			
6	10月17日	KISSホールでのPAセッティングについて③ / 機材スペック表を元に機材の説明③			
7	10月18日	K-1ライブ実施概要の説明 ~ 音響ポジションについて			
8	10月19日	ケーブルの種類と特性 / ミキサーの種類と特性			
9	10月20日	パワーアンプの種類と特性 / アナログコンソールについて			
10	10月23日	スピーカーについて / モニター卓について			
11	10月24日	エフェクターの種類と特性 / イコライザーの種類と特性			
12	10月25日	実践的な仕込み練習① / 電源の位置、安全対策を学ぶ			
13	10月26日	実践的な仕込み練習② / 機材の操作方法を学ぶ			
14	10月27日	実践的な仕込み練習③ / 配線方法を学ぶ			
15	10月30日	資料の作成について① / PLOTの読み方について①			
16	10月31日	資料の作成について② / PLOTの読み方について② / 図面の作成方法①			
17	11月1日	資料の作成について③ / PLOTの読み方について③ / 図面の作成方法②			
18	11月2日	実践的な仕込み練習④ / キーボードのセッティング			
19	11月6日	実践的な仕込み練習⑤ / Gt, Baセッティングについて			
20	11月7日	実践的な仕込み練習⑤ / 楽器転換について			
21	11月8日	実践的な仕込み練習⑥ / 楽器転換について			
22	11月9日	模擬実践 ライブ実習1(在校生バンド) / 仕込み・転換練習①			
23	11月10日	模擬実践 ライブ実習2(在校生バンド) / 仕込み・転換練習②			
24	11月13日	K-1ライブ仕込み ~ 回線チェック ~ チューニング練習			
25	11月14日	音源のたたき練習 / 転換練習 / 問題抽出 / ミーティング			
26	11月15日	テクリハ① / 転換練習			
27	11月16日	テクリハ② / 転換練習			
28	11月17日	最終チェック / 問題抽出 / ミーティング			
評価方法	2/3以上の出席で「修得済」評価				
評価	「修得済」評価(点数評価は行わない)				
テキスト					
注意事項	168時間中 57時間の欠席で定期試験受験不可=卒業ができません(留年となります)				